



にしはら

7月号

渋谷区立西原小学校

みんなで考える学校

副校長 武内 伸輔

6月27日（土）は、土曜授業の学校公開をご参観いただき、ありがとうございました。

この日は、道徳授業地区公開講座も行い、全学級で道徳の授業を公開しました。各学年の発達段階に合わせた内容で授業を実施しました。道徳は、授業の時間に教えたからといって、その力がすぐに身に付くものではありません。日々の取組や習慣の積み重ねが力になっていきます。今回の公開授業をきっかけに、ご家庭でも道徳について考えていただけますと幸いです。



写真の5年生はユニバーサルデザインを通して「親切、思いやり」について考えました。

6月に入り、梅雨らしい天候が続き、台風の接近も相次ぎました。3日（水）は児童の登下校の安全を最優先に考え、休校としました。12日（金）は、1～3年生の下校時刻に大雨と雷となったため、下校時刻を変更しました。また、27日（土）の学校公開についても、台風接近に伴い、中止を含めた対応を検討し、安全対策を講じながら実施しました。

このように、以前では想定しにくかった状況が日常的に起こるようになっていきます。そうした中で、状況を的確に判断し、できる限りの対応を考えることが、これまで以上に求められています。それには、様々な課題に対して、「一人ではなく、多くの人で考え、取り組むこと」の大切さを強く感じています。

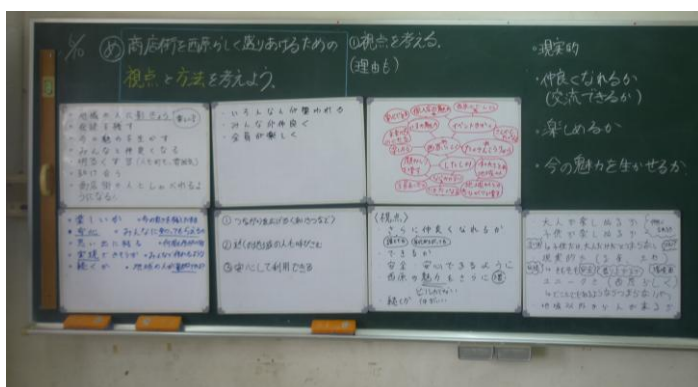
27日（土）の学校公開に際しても、当日、児童の登校後に警報等が発令され、下校できなくなった場合の対応について検討しました。その際、来校されていたPTA役員の方から、保護者が引き取りに来るまでの対応についてご意見をいただきました。それを受けて、学校から区の関係機関へ連絡を取り、対応方法の見直しを図ることができました。

また、26日（金）には、PTA主催で通学路の安全点検を行い、PTA、区の関係部署、代々木警察署、放課後クラブ、学校が連携して課題の確認を行いました。日頃使っている通学路でも、改めて見直すことで注意すべき点が明らかになりました。こうした取組を通して、関係する多くの人々がそれぞれの立場から意見を出し合い、短期的・長期的な視点で対策を共有することができました。

さらに、6年生のシブヤ未来科「商店街を西原らしく盛り上げる視点と方法を考える」の学習では、子供たちが地域の状況を見つめ直し、「現実的か」「楽しめるか」「継続できるか」という視点で考えをまとめていました。この姿は、学校の取組にも通じる大切な考え方であると感じています。



改めて見ると、表示が薄くなっている箇所が多かったです。



一人の考えや行動には限界があります。だからこそ、多くの人が考えを持ち寄り、それぞれができることに取り組むことが重要です。そして、その取組が無理なく続き、楽しく実践できるものであることが、よりよい教育活動につながっていくと考えています。

今後も、保護者や地域の皆様と協力しながら、児童が安全に、そして生き生きと学校生活を送ることができるよう、教育活動を進めてまいります。